

2022年9月27日



農林中央金庫

リコーリース株式会社とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）と、リコーリース株式会社（代表取締役社長執行役員：中村徳晴、以下「リコーリース」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件と SPTs の達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長の支援をしていくことを目指すものです。

リコーリースは、2020 年度より開始した中期経営計画において、中長期ビジョンとして掲げる『循環創造企業へ』の実現に向け、個を中心に据えた経営のもと、誠実な事業活動を通じて社会との共通価値を創造し、サステナブルな社会を目指すための取組みを推進しています。また、「クリーンな地球環境をつくる」ことをマテリアリティの一つとし、再生可能エネルギーの普及など、事業を通じた地球環境への貢献とともに、事業活動による CO₂排出削減に向けて、2030 年までに CO₂排出量 63%削減（2015 年度比）、2050 年にはゼロとする中長期目標を掲げています。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また、2021 年 5 月に発表した中長期目標のなかで、2030 年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を設定するなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、リコーリースが推進するサステナビリティ経営の理念にも共感しています。本件ローン対応を通じて、CO₂排出量削減をはじめとしたリコーリースによる気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

本件ローンでは、リコーリースの「サステナビリティ中期経営計画」に基づく目標を踏まえて、CO₂排出量削減（CO₂ 排出量（スコープ 1、2）を、2022 年度に 773.8t-CO₂、2023 年度に 728.4t-CO₂、2024 年度に 683.0t-CO₂、2025 年度に 637.6t-CO₂、2026 年度に 592.2t-CO₂、2027 年度に 546.8t-CO₂以下とすること）と、CDP 気候変動スコア（リーダーシップレベル（A、A-）を維持）を SPTs に設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則への準拠性や、設定した SPTs の合理性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しており、上記 SPTs については、野心度および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されています。

【参考】

リコーリース株式会社のホームページ

<https://www.r-lease.co.jp/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元） TEL 03-6362-7172